

**信州大学医学部附属病院 泌尿器科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。**

2019年4月2日

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の
情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4317
研究課題名	ウロダイナミックスタディに基づく Detrusor Hyperactivity with Impaired bladder Contraction (DHIC)の病態についての検討
所属(診療科等)	泌尿器科
研究責任者(職名)	小川輝之(准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2021年12月31日
研究の意義、目的	DHIC の病態にかかわる基礎疾患、患者背景をデータベース化し検討することにより病態を理解し治療、予防に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2010年04月01日から2020年3月31日の期間に当院で排尿障害のため尿流動態検査を施行されたかた
利用する診療記録／ 検体	診断名、性別、年齢、入院・外来の別、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、使用薬剤、尿流動態検査の各種データ(排尿量、初発尿意膀胱容量、最大尿意膀胱容量、膀胱コンプライアンス、排尿量、最大尿流量、最大尿流時排尿筋圧、残尿量など)排尿症状(IPSS,QOL スコアなど)、排尿記録等による排尿回数(昼間、夜間)、総排尿量、平均1回排尿量、最大1回排尿量、尿失禁回数など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、尿流動態検査のデータと各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 小川輝之(泌尿器科学教室・准教授 電話:0263-37-2661

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。